

2021年12月期第1四半期決算補足説明資料

2021年5月14日

株式会社HANATOUR JAPAN



東証マザーズ コード 6561

サマリー

2021年12月期1Qは前年同期比84.6%減収 6億円営業損失
5.9億円経常損失

新型コロナウイルス感染症の影響による減収
収束時期は依然として不透明

2021年3月1日「ホテルセンレン京都東山清水」グランドオープン

オリンピック需要（メディアクルー送迎）獲得
インバウンド実証事業取り込みの準備

2021年12月期1Q 実績サマリー

新型コロナウイルス感染症の影響による低迷

単位：百万円（百万円未満切捨て）

	2020/12		2021/12 前期比			
	1Q	構成比	1Q	差額	増減率	構成比
売上高	589	100.0	90	△ 499	△ 84.7	100
営業利益	△ 501	△ 85.1	△ 611	△ 110	-	△ 678.9
経常利益	△ 998	△ 169.4	△ 590	407	-	△ 655.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 1,144	△ 194.2	△ 598	545	-	△ 664.4

1株当たり当期純利益	△ 105.11	△ 54.97
------------	----------	---------

為替レ－卜 JPY/100KRW	2020.12.1Q	2021.12.1Q
	8.92	9.78

2021年12月期1Q 損益計算書

京都ホテル開業準備費含む経費 148百万円計上 為替リスク解消済

単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

	2020/12		2021/12 前期比			
	1Q	構成比	1Q	増減	伸率	構成比
売上高	589	100.0	90	△ 499	△ 84.7	100.0
売上原価	295	50.0	63	△ 232	△ 78.6	70.0
売上総利益	294	50.0	27	△ 267	△ 90.8	39.0
販管費	795	134.9	638	△ 157	△ 19.7	708.9
うち人件費	274	46.6	153	△ 121	△ 44.2	170.1
営業利益	△ 501	△ 85	△ 611	△ 110	-	△ 678.9
経常利益	△ 998	△ 169	△ 590	408	-	△ 655.6
親会社株主に帰属 当期純利益	△ 1,144	△ 194	△ 598	546	-	△ 664.4

売上原価

- ・バス事業：△201百万円
- ・免税事業：△21百万円

販管費

- ・旅行事業：△60百万円
- ・バス事業：△46百万円
- ・免税事業：△73百万円
- ・ホテル事業：+47百万円
- ※京都ホテル（開業費含む）
+148百万円
- ・調整他：△24百万円

営業外損益

- ・前期 為替差損473百万円
- ・当期 雇調金等助成金
43百万円

特別損失

- ・前期
減損損失 59百万円
構造改善費用 38百万円

2021年12月期1Q セグメント別

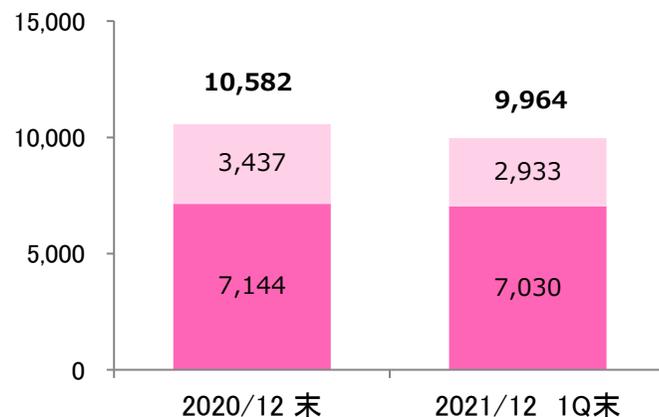
単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

		2020/12 1Q	2021/12 1Q	前期比		
				増減	伸率	構成比
旅行事業	売上高 セグメント利益 利益率	116 △ 71 -	9 △ 66 -	△ 106 4 -	△ 92.2 - -	10.0 10.8 -
バス事業	売上高 セグメント利益 利益率	185 △ 141 -	3 △ 76 -	△ 181 64 -	△ 98.2 - -	3.3 12.4 -
免税販売店事業	売上高 セグメント利益 利益率	65 △ 29 -	- - -	- - -	△ 100.0 - -	- - -
ホテル等施設運営事業	売上高 セグメント利益 利益率	277 △ 158 -	81 △ 394 -	△ 195 △ 236 -	△ 70.6 - -	90.0 64.5 -
その他	売上高 セグメント利益 利益率	21 7 33.3	4 △ 1 -	△ 17 △ 7 -	△ 80.4 - -	4.4 0.2 -
小計	売上高 セグメント利益 利益率	665 △ 393 -	98 △ 539 -	△ 567 △ 146 -	△ 85.3 - -	108.9 88.2 -
調整等	売上高 セグメント利益 利益率	△ 75 △ 107 -	△ 7 △ 72 -	67 35 -	- - -	△ 7.8 11.8 -
合計	売上高 営業利益 利益率	589 △ 501 -	90 △ 611 -	△ 499 △ 111 -	△ 84.6 - -	100.0 100.0 -

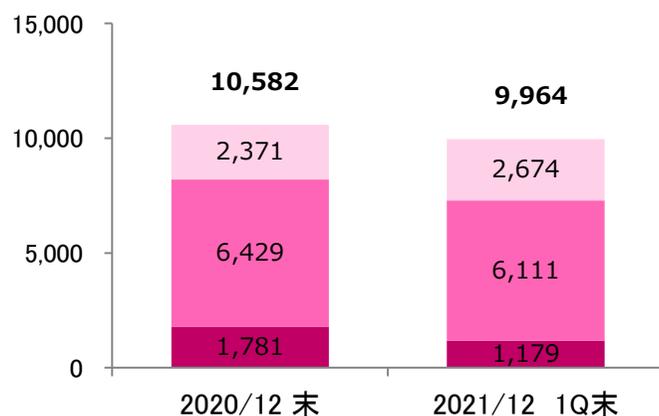
2021年12月期1Q 貸借対照表

Cash残高 25億円 当面の運転資金確保

単位：百万円（百万円未満切捨て）



■ 固定資産 ■ 流動資産 ■ 資産合計



■ 純資産 ■ 固定負債 ■ 流動負債

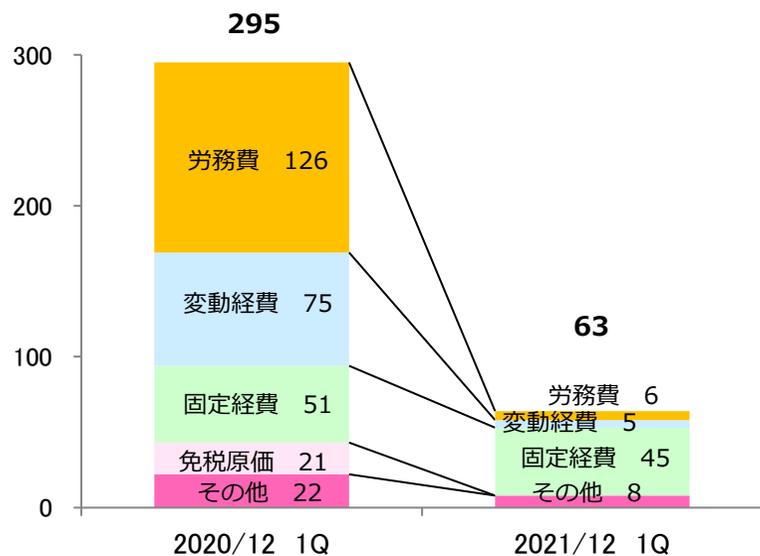
流動資産	2,933	(△503)	
■ 現金及び預金	2,520	(△505)	売上減による減少
■ 売掛金	30	(△12)	
■ その他流資	189	(+32)	未収還付消費税+86
固定資産	7,030	(△113)	
■ 有・無形固資	5,649	(△51)	
■ 敷金保証金	69	(△95)	料賃料の敷金充当
流動負債	2,674	(+303)	
■ 一年内返済長借	452	(+286)	更新予定期日の到来
■ リース債務	254	(△6)	
固定負債	6,111	(△318)	
■ 長期借入金	1,127	(△237)	一年内返済長借へ振替
■ リース債務	4,876	(△57)	返済による減少
純資産	1,179	(△602)	
■ 資本金	1,022		
■ 資本剰余金	966		
■ 利益剰余金	△39	(△598)	当期利益△598

2021年12月期1Q コスト削減

構造改革によるコスト削減

売上原価 前期比較

単位：百万円（百万円未満切捨て）

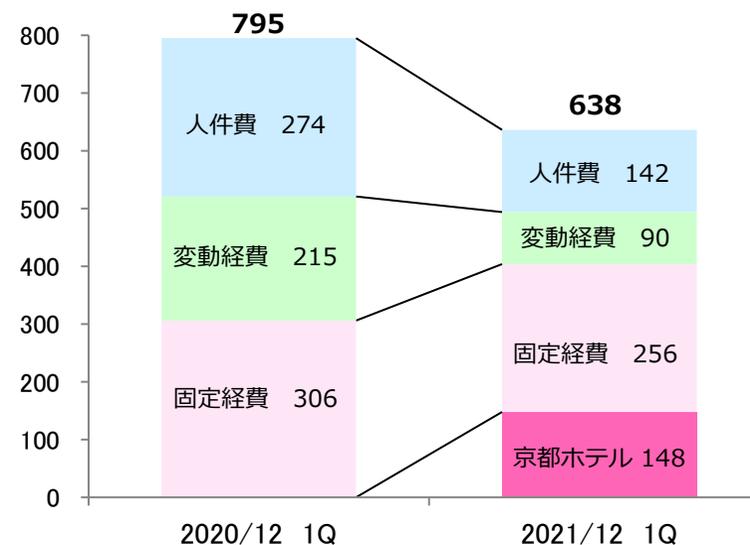


主な削減策

- ・ 営業拠点の統廃合によるコスト削減
- ・ 一部事業の譲渡・廃止
- ・ 休業によるコスト削減

販売費 前期比較

単位：百万円（百万円未満切捨て）



今後の削減策

- ・ 本社移転 子会社拠点の集約
- ・ 雇用調整助成金の活用
- ・ ホテル賃借料の減免猶予の交渉

2021年12月期 業績予想 配当予想について

新型コロナウイルス感染症の影響により、観光産業においては、依然として経済活動が停滞している状況が続いております。現時点では収束の見通しは立っておらず、業績予想の算定が困難な状況です。

従いまして2021年12月期の連結業績予想及び配当は未定とさせていただきます、影響額の算定が可能となった時点であらためて開示させていただきます。

2021年12月期 今後の重点施策

営業基盤の強化

経営効率化

営業力強化

旅行事業

- ▶ 本社移転、子会社の集約
- ▶ 全社的休業によるコスト削減
- ▶ 雇用調整助成金の活用

- ▶ インバウンド市場回復を見据えた取組み
 - 政府インバウンド実証事業参画準備
 - 海外有力サイトとのAPI連携推進
- ▶ GoTo再開・国内需要を見据えた取組み
 - 在留外国人向けSNS PR活用
 - 在日外資系企業への営業強化

バス事業

- ▶ 営業拠点の選択と集中
 - 東京・大阪の2拠点へ絞り込み
- ▶ 全社的休業によるコスト削減

- ▶ オリンピック（メディアクルー送迎）需要の獲得
- ▶ クルー送迎便の獲得
- ▶ 国内AGTへの営業強化
- ▶ 国内向け販売強化

ホテル等
施設
運営事業

- ▶ Tマークシティホテル札幌
一時休業（当面の間）
- ▶ 賃貸料の減免・猶予など交渉
- ▶ 清掃等ランニングコストの見直し

- ▶ 東京大森 航空会社乗務員の宿泊誘致強化
- ▶ 京都 新ブランドとしてOTAへ広告宣伝強化
- ▶ 2021年9月 金沢に開業予定（110室）

財務体質の強化

金融機関、親会社へ継続した支援要請

状況に合わせて増資の検討

ディスクレームー

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

【お問い合わせ先】

株式会社HANATOUR JAPAN

経理財務部

TEL 03-6402-4411

ホームページ <http://www.hanatourjapan.jp/>